

# 公立宍粟総合病院 公的医療機関等2025プラン

平成30年 2月 策定  
平成30年 7月 策定

【病院の基本情報】

医療機関名： 公立宍粟総合病院

開設主体： 宍粟市

所在地： 兵庫県宍粟市山崎町鹿沢93

許可病床数：

（病床の種別）一般病床 199床

（病床機能別）急性期病床 150床、回復期病床 49床

稼働病床数：

（病床の種別）一般病床 192床

（病床機能別）急性期病床 150床、回復期病床 42床

診療科目： 12科目（内科、外科、整形外科、小児科、眼科、放射線科、泌尿器科、  
皮膚科、産婦人科、精神科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科）

職員数： （H31.1.1現在）

- ・ 医師 23人
- ・ 看護職員 153人
- ・ 専門職 52人
- ・ 事務職員 16人
- ・ その他 -

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

② 構想区域の課題

③ 自施設の現状

④ 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

当院は兵庫県北西部に所在し、広大な面積を有する宍粟市における唯一の病院であり、へき地医療拠点病院に位置付けられた圏域・地域の中核的な病院としての役割を担っている。

市内には一次救急を担う開業医による有床診療所はあるものの、MRI、CT、血管造影装置等の高度医療器機を有し総合的な医療を提供できる病院は他になく、当院が二次救急を担う唯一の病院となっている。

三次救急については、中播磨・西播磨圏域が1つのブロック（西播磨ブロック）となっており、隣接する姫路市内の病院が救命救急センターに指定されているが、広域な医療圏のため道路状況や距離の関係からアクセスは良好とはいえず、地域住民のニーズの高い救急医療、一般診療等を充実させることで、近隣の開業医と連携を図りながら、できる限り地域完結型の医療を担うことが当院の役割と考えている。

② 今後持つべき病床機能

地域のニーズの高い医療（急性期・回復期）について、近隣開業医等と連携を図りながら、地域完結型の医療を目指し、病床数・病院機能の見直しを検討する。

③ その他見直すべき点

持続可能な病院運営には更なる経営の健全化が喫緊の課題となっており、その実現のため、経営分析を行い、収益増・経費節減を図るとともに、ブロック内で同一の役割、同一の課題を持つ公立病院との連携強化により、共通の課題について解決を図る必要があると考えている。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	150		150
回復期	42		49
慢性期			
(合計)	192		199

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○合意形成に向けた協議	○自施設の今後の病床のあり方の検討と決定	集中的な検討を 実施
2018年度			第7期 介護保険 事業計画
2019～2020 年度			
2021～2023 年度			第8期 介護保険 事業計画

第7次医療計画

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率： 75.0%
- ・ 手術室稼働率： 未検討
- ・ 紹介率： 51.0%
- ・ 逆紹介率： 71.0%

経営に関する項目\*

- ・ 人件費率： 52.0%
  - ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： 0.27%
- その他：

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

宍粟市は広大な面積を有しているが、公共交通機関が充実しているとは言い難く、市民生活に近い在宅医療を支える開業医と連携しながら、地域完結型の医療を担うことが当院の責務と考えている。

また、市民が住み慣れた地域で安心して住み続けることが出来るよう、医療と介護の連携、予防、生活支援などが一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しているところであり、当院は基幹病院としてこのシステムを支えていくことが重要な責務と考えている。